

菊水短歌会

こんなにも肩幅広くなりたるや
泥にまみれし子のシャツ洗う
おむつごと預かりし孫も中一に
門出を祝い赤飯を炊く
亡き夫へ遠くはなれた娘より
便りと共にマンゴー届く
当り年の柿の実哀し藪の中
もぐ人もなく音たて落ちる
曾孫くれば娘、孫等の集い来て
私は片すみ影うすれたり
満月の青い光に誘われて
五感にしみる風のささやき

池田 恭子
河野 洋子
坂本やすみ
阪野 章子
坂本 竹子
赤星 文恵

かなしき原俳句会

落葉掃く音にも軽さある日和
島仕事終わらぬまゝに秋の暮れ
こほろぎや古よりの夜想曲
大輪の真白き香り菊日和
遠き日の野山の味や山葡萄

弘子
淑
誠一
克代
謙三

菊水俳句会

晩秋の朝靄駆って行くライダー
何するも温もり恋し今朝の冬
秋夕焼尻を呼ぶ母の遠き声
思ひ出の雲仙旅行秋桜
縁側に冬着つくろふ日和かな

貞子
しん子
淑乃
きよみ
康子

肥後狂句

目をさました庭に立つ夜半の月
集落の稲刈り済みて静かなり
穏やかや庭の日眺め密柑むく
里さびし採るひとなく柿たわわ
菜園を猪に荒され妻激怒
絵をながめ心満たさる秋夕焼

池田 松子
中山ミサト
宮中ミスエ
宮中 康雄
永田 紘彦
原 かよ子

よし決めた 無駄な大学やめとこう
よし決めた 心美人にプロポーズ
よし決めた この男なら嫁に行け
やと秋 自然の風が頬撫でる
やと秋 友よりとどく鮎の味
やと秋 何でも旨いふとるばい
やと秋 食欲も出て旅プラン
ついとらん 白バイついて来てるとは
ついとらん 開運グッズ役立たず

福永すみれ
二瀬 桔梗
庄山 道章
池田 茜
高木せいや
後藤 撫子
瀬上 歌子
井上りんどう
石原かわせみ

人権の窓 19

「いじめをなくせる人に」

今年、十月十四日(土)、子どもたちの行動を通して差別のない社会を目指す「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす熊本県人権子ども集会」が熊本市のパークドームで開かれました。県内の小中高生約八千名が集まりました。本町からは小中学生五七名、おともも合わせて七一名がバス二台で参加しました。

体験活動報告では、初めに合志小学校六年生のみなさんが、「差別をなくしていく行動する」という目標を決め、取り組んでいることを発表しました。「人権学習で、自分の父親は外国人であることや両親の離婚のことをクラスのみんながしっかりと受け止めてくれて嬉しかったこと。また、水俣病の語り部の方や恵楓園での入所者の方との出会うこと、真実を知ることと相手に本当のことを伝えることの大切さを学び、なかよし集会で自分のことを隠さず伝えることができたこと。差別をなくすためにこれからも本当のことを伝えていき、みんなの人権が守られる学校にしていきたい」と、元気に報告しました。

次に、嘉島中学校の生徒会の人たちは、昨年4月、故郷を襲った熊本地震の中で、「立ち上がる嘉島町、負けんばい嘉島中」というスローガンを掲げ、取り組んだ体験を発表しました。「家が完全に倒壊し、仮設住宅で暮らしてきた。辛いという思いを誰にも言えず、ずっと苦しんできた。クラスのみんなの前で、大声で泣き、辛かった気持ちを初めてみんなに話し、分かってくれて本当にうれしかった。これからも人の温かさを信じて生きていきたい。」と、自分の思いを伝えること大切さを伝えてくれました。

最後に、解放高校生は、中学校や高校でのいじ



めを乗り越えてきた体験を語りました。「仲良しの友だちのいじりが、男子へと広がり、ついにはSNSでの悪口へとエスカレートをしていく中、手首を切るころまで追い込まれた。そんな中で頑張ったのは解放子ども会の学習会の仲間がいてくれたから。ずっと隣で悩みを聞いてくれ、差別と闘ってくれた。仲間がいたから生きてこれた。いじめは目の見えない殺人だ。一人ぼっちでは生きる力を奪われる。もしいじめられている子がいたら声をかけよう。もしいじめられている人がいたら止めてほしい」と参加者に訴えてくれました。

和水町の参加者は、会場で昼食を食べた後、感想を出し合っただけで交流しました。

「いじめをなくすためには笑顔で自分のことを話すことだと分かった」「いじめは見えない殺人だという話があったが本当はそうだった」「いじめは人の心を傷つける。私も言ったことがある。これからは言わないようにしたい」「自分のことを伝え、相手のことをよく知ることが大切だと分かった」「学んだことを学校に持って帰りたい」「いじめや差別は少しのからかいから始まるのがわかった。いじめをなくしたい」と、たくさんの方が感想と決意を語ってくれました。

差別をなくしていくたくさんの仲間と出会い、行動する勇気をもたらえた集会でした。参加者のみなさん、本当にありがとうございました。

地域人権教育指導員

緒方正雄

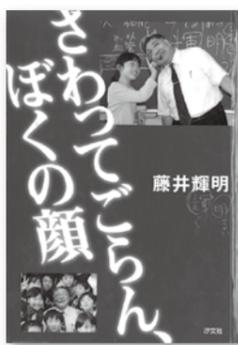
図書室 本紹介

中央公民館 図書室より



『耳の聞こえないメジャーリーガー ウィリアム・ホイ』

ナンシー・チャニン 著/樹光村教育図書
1988年から1990年まで、アメリカのメジャーリーグで活躍したウィリアムは、耳が聞こえないことを苦とせず、ユーモアがあり、野球を愛し、いつも全力で取り組んでいた。場内アナウンスや大液晶画面もない時代、「ストライク」「セーブ」などの審判のジェスチャーやチーム内のサインを考案し、観客を熱狂させた彼の活躍を描いた楽しい伝記です。



『さわってらん、ぼくの顔』

藤井 輝明 著/樹光村教育図書
「ぼくの顔には、大きなふくらんだアザがある。外を歩いている時に、ジロジロ顔を見ている人はたくさんいるけれど、ぼくは誰にでもいつも笑顔でおじきをするんだ。そうしたら、中にはぼくに近づいて笑顔になる人だっている。まるで友だちになれたみたいで、ぼくも相手もうれしくなるんだ。」顔に病氣や障害を持つ人たちに對する差別・偏見をなくすために、全国で講演・交流活動を行っている著者が、子どもたちに伝えるあたたかいメッセージの詰まった三冊です。



『典子44歳 いま、伝えたい』

白井のり子 著/樹光村教育図書
両親のいないサリドマイド児として生まれた著者が、2006年春に勤めていた熊本市役所を退職し講演活動を開始。これまで普通の女性として生きた自分自身を守りたいとマスコミの取材を一切拒み続けてきましたが、これからは「今の、のり子」を知って、元氣や勇氣を感じてくれる人がいてくれるなら、今の思いから、結婚・二児の子育てを経て現在に至るまでの波瀾万丈の半生と心境を綴った二冊です。1981年公開の映画「典子は、今」の主人公です。

リサイクルプラザつうしん

12月リサイクル体験受講者募集

申し込み先：クリーンパークファイブ
住所：長洲町大字名石浜42番地1 ☎0968・78・4433

日	時間	講座名	講師名	募集人員	募集期間	準備するもの
①15日(金) ②18日(月)	午前9時30分 ～午後4時	古布ちりめん羽子板	古 千代氏	10名	電話受付	①ピンセット ②速乾ボンド ③裁縫道具 ④筆記用具 ⑤羽子板(お持ちの方のみ。30cm以内の物。) ⑦お弁当 ⑧材料費4,000円 ※羽子板をお持ちで無い方は有料にてご用意致します。電話連絡時に申し込んでください。
					1日(金) 午前9時～ 11日(月) 午後4時	
					希望者多数の場合の抽選日 13日(水) 午前10時	

受付方法
電話にて受付を行い、受講希望者多数の場合は抽選となります。
その場合は、電話にてご連絡いたします。(必ず受付時、連絡の取れる電話番号をお願いします)
電話がない場合は、受講決定ですのでリサイクル体験講座開講日においてください。
尚、土曜日・祝日は終日休みとなっており、日曜日は午前10時～午後4時まで電話受付を行っていますので、お気軽にお申し込みください。